

うちなだ 議会だより



早寝 早起き 朝ごはん

Vol. 125

平成28年〔2016〕
5月6日 発行



石川県内灘町議会

町総合計画を議決

平成28年内灘町議会3月会議では、今後10年のまちづくりの指針となる第5次内灘町総合計画基本構想を審議し、全会一致で採択しました。



川口克則 町長

今回策定する第5次総合計画では、町の将来像として「ひと・まち・海が輝き笑顔あふれる都市^{まち}うちなだ」を掲げております。これまで、内灘町では恵まれた自然環境のほか、高度の医療機関である金沢医科大学病院が立地するなど、快適な住環境が整備されてきましたが、こうした特性を生かしながら、これまでに培ってきた人づくりや都市基盤整備、さらに町民が誇りとする豊かな自然の魅力に磨きをかけ、未来に輝き続けるまちづくりをめざしてまいります。

今後、町の将来像の実現に向け、各種施策に全力で取り組んでまいります。

(計画策定の提案理由説明より要約)



3月定例会議

— 目次 —

2 町総合計画を議決 3月会議

4 夢ふくらむ新規事業

6 子育て・教育環境の充実で定住促進へ

9 連携協約を締結

10 賛否の分かれた議案一覧

11 一般質問 9人が登壇

21 委員会レポート

22 名誉町民称号贈呈式 岩本秀雄氏

23 ありやくどうなつたがいねく

24 街かどインタビュー 白帆台曾山正行さん



河北潟桜並木ロード

表紙のいじみ

「早寝早起き朝ごはん」

季節の果物・野菜を使って楽しい
今日の献立あそび

千鳥台幼稚園

平成28年度

新規事業

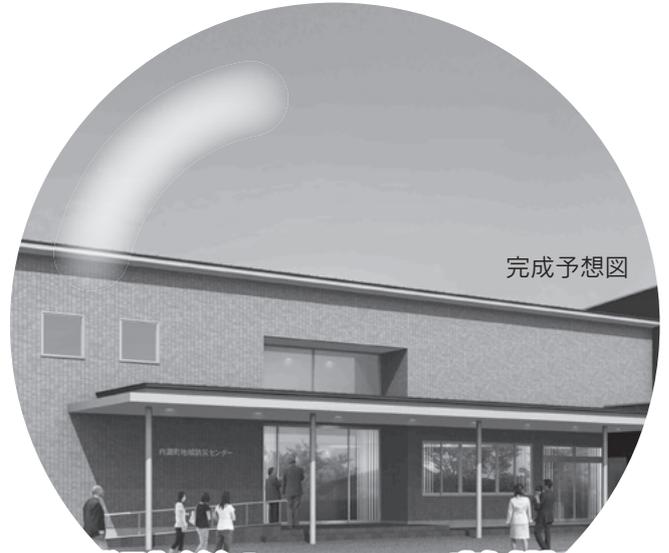
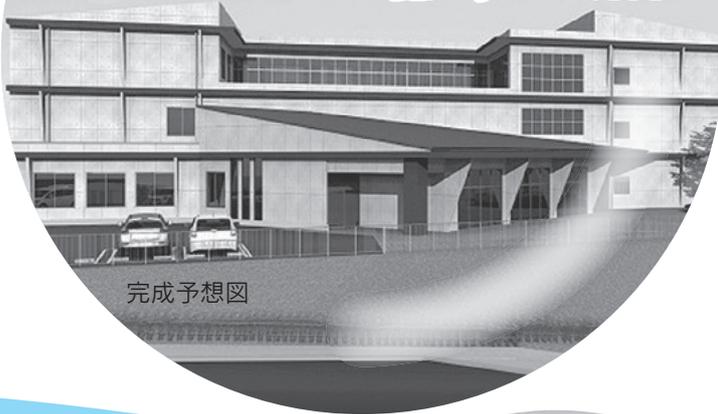
3月会議
4日～18日

平成28年3月会議が開催され、平成27年度補正予算、平成28年度当初予算のほか、条例、人事案件など計34件を審議し、原案のとおり可決しました。



夢ふくらむ

白帆台小学校建設工事費 6億5,746万円



地域防災センター整備事業 工事費 2億2,000万円 工事監理費 400万円



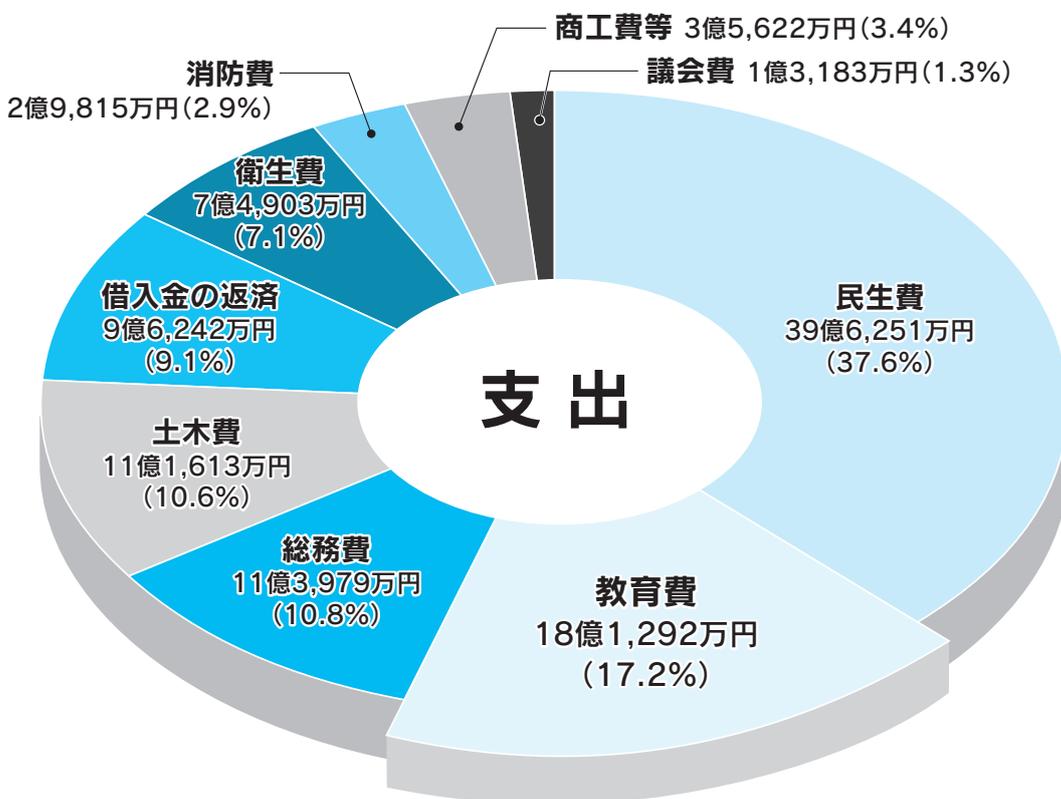
創業支援事業補助金 340万円

その他の主な新規事業

- | | | | |
|-----------------------|---------|---------------------------------|---------|
| ・コミュニティチャンネル放送システム整備費 | 1,532万円 | ・認知症施策推進事業費 | 8万円 |
| ・固定資産鑑定業務費 | 470万円 | ・新ほっと石川観光プラン推進ファンド貸付金 | 7,500万円 |
| ・公共施設等総合管理計画策定業務費 | 600万円 | ・宮坂通学路整備実施設計業務費 | 100万円 |
| ・ひとり親世帯学習支援事業費 | 170万円 | ・合葬墓施設管理業務費 | 59万円 |
| ・北部保育所改修費 | 100万円 | ・第4分団格納庫建設事業 実施設計・監理業務費 | 190万円 |
| ・教育認定児童給食費補助金 | 205万円 | ・建設工事費 | 2,630万円 |
| ・ひとり親家庭等保育料助成金 | 119万円 | ・外構工事費 | 470万円 |
| ・子育て短期支援事業 | 11万円 | ・解体工事費 | 280万円 |
| ・妊産婦乳児健康診査助成金 | 10万円 | ・施設改修工事費 生きがいセンター陶芸電気炉 | 350万円 |
| ・特定不妊治療費(男性)助成事業費 | 10万円 | ・宝くじふるさとワクワク劇場開催費 | 80万円 |
| ・不育症治療費助成事業費 | 30万円 | ・柔道場畳取替・弓道場屋根等改修・向粟崎体育館遮光カーテン設置 | 540万円 |
| ・生活支援体制整備事業費 | 350万円 | ・バーベキュー場通路テント張替工事 | 170万円 |

の充実で定住促進へ

教育費の前年度比 8億4,000万円アップ



主な支出の対前年度比

項目名	前年度予算額	前年度比※
民生費	32億8,393万円	120.7%
教育費	9億7,725万円	185.5%
総務費	9億3,654万円	121.7%

※前年度を100とした場合

町民一人あたりの予算

39万1,456円 (一般会計)

平成28年3月末

人口 26,897人 (前年度比-14人)

町の貯金と借金 (平成27年度末見込)

■ 貯金(基金)の残高

財政調整基金	3億2,617万円
公用、公共用施設整備基金	1億5,856万円
義務教育施設整備基金	3億9,586万円
(仮称)高齢者いきいき健康センター整備基金	1億9,461万円
土地開発基金	1億 243万円
その他の基金	1億4,700万円
一般会計基金の計	13億2,463万円

町民1人あたりの貯金 **49,248円**
(前年度比94.1%)

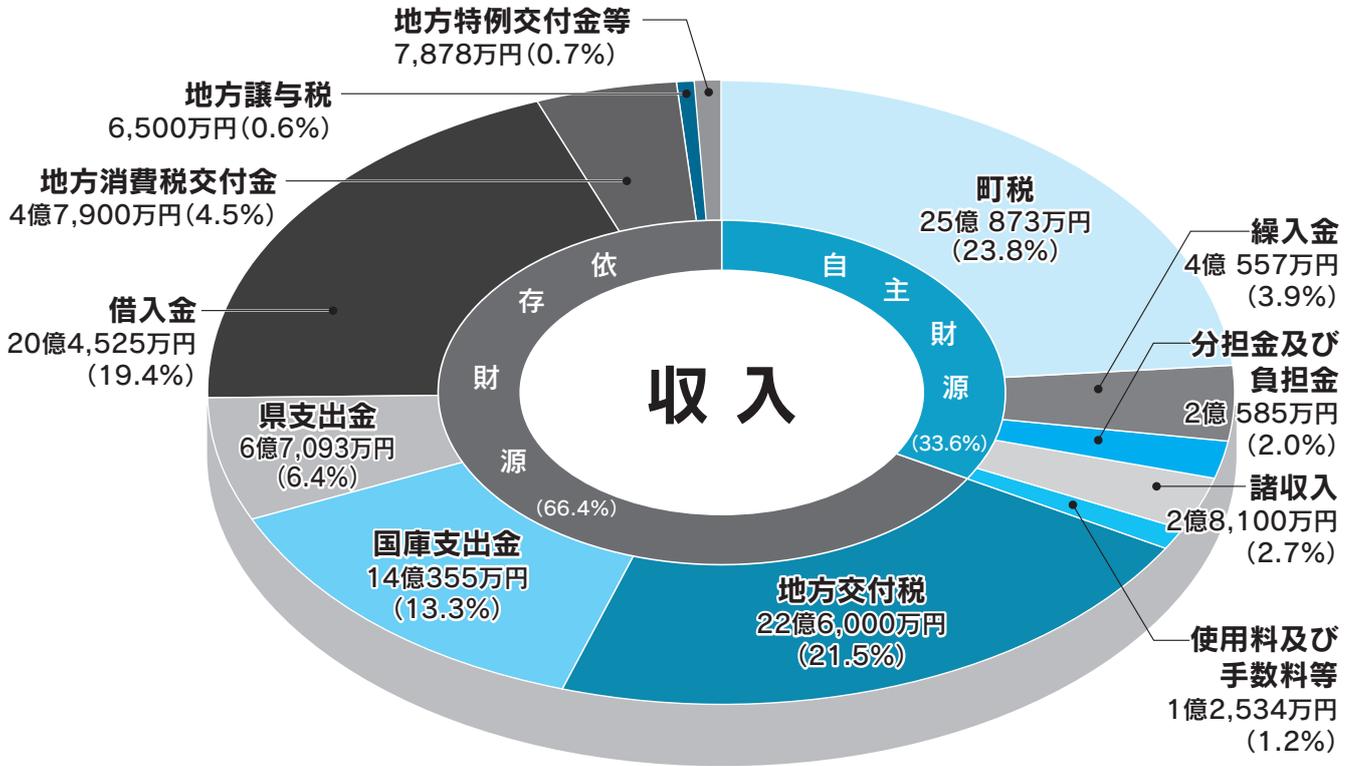
■ 借金(地方債)の残高

総務関連事業債	9億2,576万円
民生関連事業債	2億8,230万円
衛生関連事業債	7,097万円
土木関連事業債	21億1,066万円
教育関連事業債	14億6,168万円
臨時財政対策債	42億 616万円
その他の町債	10億5,866万円
一般会計町債の計	101億1,619万円

町民1人あたりの借金 **376,108円**
(前年度比99.9%)

子育て・教育環境

一般会計総額 105億2,900万円



主な収入の対前年度比

項目名	前年度予算額	前年度比※
町税	24億9,115万円	100.7%
地方交付税	22億円	102.7%
借入金	9億3,848万円	217.9%

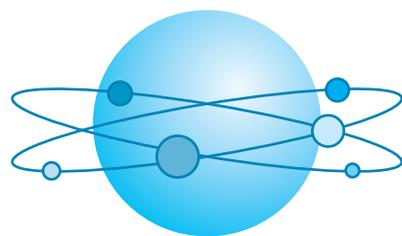
※前年度を100とした場合

自主財源 町が自主的に徴収できる財源。
依存財源 国や県から受け入れ、町の裁量が制限されている財源。借入金は本来自主財源だが、実際には政府の許可制のため依存財源に分類される。

平成28年度特別会計 総額 80億6,495万円

会計名	予算額	前年度予算額	前年度比※	
特別会計	公共下水道事業	19億 130万円	14億8,000万円	128.5%
	新エネルギー事業	4,800万円	4,800万円	100.0%
	国民健康保険	33億4,700万円	29億3,940万円	113.9%
	後期高齢者医療	2億3,490万円	2億2,900万円	102.6%
	介護保険	18億円	17億7,240万円	101.6%
水道事業会計	7億3,375万円	7億4,489万円	98.5%	
合計	80億6,495万円	72億1,369万円	111.8%	

※前年度を100とした場合



条例の制定及び改正

本社機能立地促進のための固定資産税の特例に関する条例

町外にある本社機能を町内に移転・拡充した場合の固定資産税の特別措置を規定。

(全員賛成)

行政不服審査会条例

判断の妥当性を審査する第三者機関を設置。

(全員賛成)

行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例

提出資料写し等の交付手数料を規定。

(全員賛成)

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
不服申立ての手続きが審査請求に一元化されること等に伴う関係条例の一部改正。

(全員賛成)

部制条例の一部を改正する条例

「統計に関すること」の業務を都市整備部へ移行。

(全員賛成)

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児又は介護を行なう職員の早出遅出勤務に関する規定を改正。

(全員賛成)

常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

期末手当を改正。

(全員賛成)

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づく国の給与の一部改正に準じた一部改正。

(全員賛成)

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

期末手当及び議員報酬を改正。
(賛成10…反対2)

※詳しくは22頁に関連記事

特別職の職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

監査委員の報酬額の改正及び中央公民館長の規定を削除。

(全員賛成)

内灘中央公民館の廃止に伴う

関係条例の整理に関する条例

内灘中央公民館の廃止に伴う関係条例の一部改正。

(全員賛成)

内灘町立小中学校の設置条例

の一部を改正する条例

(全員賛成)

放課後児童健全育成事業の設

備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童支援員の資格に義務教育学校の教諭を加える。

(全員賛成)



今後の連携中枢都市圏に期待 (金沢駅周辺)

連携中枢都市圏の形成へ 連携協約を締結

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

収支健全化のため、国保税率の改正。(賛成10…反対2)

介護保険条例の一部を改正する条例

介護予防・日常生活支援総合事業の事業開始時期を変更。(全員賛成)

地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

主任介護支援専門員の基準を改める。(全員賛成)

火災予防条例の一部を改正する条例

電磁誘導加熱式調理器に係る離隔距離を追加。(全員賛成)

第五次内灘町総合計画基本構想の策定

今後10年間ににおける「将来のまちの姿」の実現に向けた基本方針を策定。(全員賛成)

金沢市及び内灘町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約

連携協約を締結。(圏域…金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町)

(賛成11…反対1)

人事案件

固定資産評価審査委員



森下 康平氏
(再任 鶴ヶ丘)
(全員賛成)

公平委員



石田 俊之氏
(再任 緑台)
(全員賛成)



北川まゆみ氏
(新任 大学)
(全員賛成)

平成27年度
一般会計補正予算

補正額2億2508万円を増額し、総額97億9178万円となりました。

年金生活者等支援臨時福祉給付金

支給対象者は、平成27年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成28年度中に65歳以上になる方に一人につき3万円給付されます。

主な事業

情報システム管理委託料	4,740万円
地域公共交通確保維持改善事業	155万円
障害者自立支援給付費	600万円
年金生活者等支援臨時福祉給付費	7,234万円
後期高齢者医療療養給付費(負担金)	1,611万円
妊産婦乳児健康診査委託料	50万円

1月会議開催

平成27年度補正予算

一般会計

福祉センター整備事業による8070万円を増額し、総額95億6670万円となりました。(全員賛成)

指定管理

公共施設管理者の指定
・内灘町屋内温水プール
管理者(継続)
株式会社 エイム
(平成28年度～平成32年度)
(全員賛成)



請願の審査

不採択

TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

(賛成2人 反対10人)

◎請願者

農民運動石川県連合会

会長 宮岸 美則

◎紹介議員

北川 悦子

要旨

政府の「大筋合意」は通過点に過ぎず全農産物の関税撤廃が迫られる恐れがある。

不採択

憲法違反の安全保障関連2法(国際平和支援法、平和安全法制整備)の廃止を求める意見書採択についての請願

(賛成2人 反対10人)

◎請願者

石川憲法会議

代表者 東 孝二

◎紹介議員

北川 悦子

要旨

日米安保条約にも反し、自衛隊がいつでも出向いて戦争ができる体制を作るものである。

不採択

「消費税10%増税中止の意見書」採択を求める請願書

(賛成2人 反対10人)

◎請願者

消費税廃止石川県各界連絡会

代表者 加藤 忠男

◎紹介議員

北川 悦子

要旨

個人消費が落ち込んでいて、これ以上増税すれば経済も奈落の底に落ち込む。



審議結果一覧

3月会議で
賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	米田 一香	磯貝 幸博	七田 満男	太田 臣宣	生田 勇人	川口 正己	藤井 良信	恩道 正博	北川 悦子	夷藤 満	清水 文雄	中川 達	南 守雄
議案第 3号 平成27年度内灘町一般会計補正予算(第6号)		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第 8号 平成28年度内灘町一般会計予算		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第11号 平成28年度内灘町国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第21号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第28号 内灘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第33号 金沢市及び内灘町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について		○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第 7号 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願		×	×	×	×	-	×	×	×	○	×	○	×	×
請願第 8号 憲法違反の安全保障関連2法(国際平和支援法、平和安全法制整備)の廃止を求める意見書採択についての請願		×	×	×	×	-	×	×	×	○	×	○	×	×
請願第 9号 「消費税10%増税中止の意見書」採択を求める請願書		×	×	×	×	-	×	×	×	○	×	○	×	×

○は賛成、×は反対、-議長は採決に参加しません

討論!

可決

議案第21号 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

反対

議員定数を減らしたから、通年議会にしたから、審議会の答申だから、これでは町民は納得しない。

清水 文雄

反対

厳しい町の財政と町民の暮らしを考えると報酬引き上げに反対する。

北川 悦子



賛成

議員には専念できる環境を整え様々な課題の克服と卓越した識見、高い専門性が益々求められていく。

中川 達

賛成

「特別職報酬等審議会」の答申はこれまで進めてきた議会改革の評価の結果であり、期待の表れである。

恩道 正博

一般質問 (3月8・9日)

町政も問う

9人が登壇

- 藤井 良信** 12
- 「地方創生総合戦略」の具体策を示せ
 - 「サイクリングターミナル」の今後について ほか3問
- 太田 臣宣** 13
- 学童保育について
 - 町内外へ町のすばらしさをPRせよ ほか1問
- 七田 満男** 14
- 河北潟干拓地の農業、酪農の振興について
 - 改正される創業支援事業について
- 恩道 正博** 15
- 平成28年度予算について
 - 認知症初期集中支援チームの設置について ほか1問
- 北川 悦子** 16
- 平成30年度から国保の都道府県化を前に
今税率改正は必要か
 - 議員報酬引き上げの必要性を問う ほか3問
- 夷藤 満** 17
- 町立学校で町の町歌を歌わないのはなぜか
 - 風力発電の今後の見通し ほか1問
- 米田 一香** 18
- 健全な財政運営とICTを活用した将来展望について
 - 公平な教育の保証と内灘町教育振興基本計画について
- 清水 文雄** 19
- 2016年度予算案について
 - 不登校児童・生徒への対策について ほか2問
- 磯貝 幸博** 20
- 鶴ヶ丘県営住宅建替事業計画について
 - 世界の凧の祭典をより充実させ、
さらに内灘海岸の魅力発信につなげよ ほか2問

質問と答弁の詳細は町ホームページ↓議会↓議会録画中継でご覧ください。

題字 上野雅子さん(西荒屋)



新年度事業の具体策を示せ

健康寿命の延伸を図る 町長



藤井 良信

問 平成27年度の地方創生総合戦略に係る事業成果を示せ。

答 地元商工業の活性化を目的にプレミアム商品券の発行や住宅リフォーム助成を実施した。また、多子世帯保育料軽減事業や子ども医療費の現物給付制度、若者定住促進策、さらに新規創業者支援や**6次産業化**への商品開発助成がある。

問 平成28年度からの事業推進を具体的にはどのように考えているか。

答 健康寿命の延伸をテーマに金沢医科大学や民間企業と連携し、雇用創出をめざした事業計画の実現を国に申請している。また、子育て環境の充実や（仮称）白帆台小学校の建設、地域防災センターの整備、ほのぼの湯の改築を実施する。



金沢医科大学との官民連携で雇用創出

施設管理

問 サイクリングターミナルの今後について、町での展望を示せ。

答 サイクリングの拠点施設としての改修・改築では、民間活力の導入や国の地方創生関連交付金が活用できないか、加えて新たな宿泊施設の誘致も事業者に働きかける。また、自転車競技場では機能の十分な活用についても検討していく。

問 現在自転車競技場の指定管理者は、県から町公共施設管理公社への特命指定となっている。

答 施設管理だけでなく事業の企画立案に係る専門的な知識が必要であり、関係団体の意見を踏まえ、管理者である県と協議していく。



そよ風にペダルも軽く

※6次産業化

農林水産業者が、生産だけにとどまらず加工・流通販売まで手がけるなどの新たな産業創出。

その他の質問

問 道の駅、リニューアルでのイメージは。

答 地元農産物の活用や新商品の開発と聞く。

問 介護予防・日常生活支援総合事業の強化を。

答 コーディネータを配備し支え合い体制を図る。

問 介護SOSサービスの導入を提案する。

答 先進的な事例として注目していく。



太田 臣宣

休日学童を1か所でも

開設を視野に入れ検討する 町民福祉部長



地域ではぐくむ親子の絆

問 町の約5割の方々が金沢市を勤務地として働いている。特に女性のパートの方は、衣料・食料品店等に多く勤務しており、大型店では土・日曜の勤務もある。女性の働きやすい環境整備のため、更なる学童保育の充実を検討してはどうか。

また休日学童を町内に1カ所でも開設する考えはあるか。

答 人員配置や保育料などの運営面、学校・学童に通う子どもの負担もあわせて考慮しなければならぬ。

子育て支援センターで実施しているファミリーサポート事業※を利用していたいただきたい。

今後は、保護者の就労状況などが多様化していくことが予想される。1カ所での開設も視野に入れて検討する。

情報発信

問 平成28年度には温浴施設、屋内多目的広場が完成する。町ホームページなどを活用し、完成図も載せて町内外にPRすることなどで定住促進につなげよ。

答 ケーブルテレビでコミュニティチャンネルを新たに整備し情報発信の強化を図る。町ホームページで移住者向け情報を充実させ定住促進を図る。



砂のスター・ウォーズ（鳥取砂丘の取り組み）

問 町には砂丘・海岸・酪農、温浴施設・サッカー場などの施設がある。商業施設誘致に向けて、もっとPRのための資料を作成せよ。

答 町の魅力を広く発信することは交渉を進めていく上でも重要である。町ホームページなどの活用や新たな資料づくりに努め商業施設や宿泊施設の誘致に努める。

その他の質問

問 水道事業の今後の計画を示せ。

答 自己水の確保に向けた基本計画を策定する。

※ファミリーサポート事業

地域において育児の援助を受けたい人と行ないたい人を結びつけることを町が行なう会員制の子育て支援事業。

河北潟干拓地を観光化せよ

実現に向け国や県に働きかける 町長



七田 満男

問 町では、河北潟干拓地の農業、酪農に対してどのような振興策を描いているのか。

答 金沢市、かほく市、津幡町、内灘町で農業振興に向けた勉強会がある。生産や販売、6次産業化での連携による河北潟ブランド確立をめざす。また、農林水産省では農観連携のモデル事業に着手している。



牧場の観光資源、活かせモウ一步

問 振興策の一つに今までは視点を変えて、干拓地に人を呼び込む施策が必要だ。酪農業の観光化に向けて道の駅のような施設の建設、道路・トイレ・駐車場の整備などを国や県に要望せよ。

答 酪農業者と今後の方性や具体的な取り組みを話し合い、実現に向け国や県に働きかける。

創業支援事業

問 空き家・空き店舗を活用する新たな創業支援事業の内容を示せ。

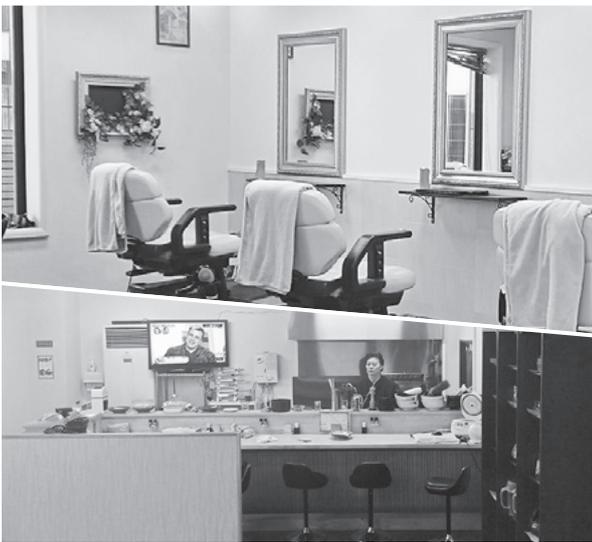
答 50万円を上限に創業準備費用の2分の1を補助する。また経営が安定するまで月額家賃の3分の2、月10万円を上限に1年間補助する。商工会内に新たに**創業支援ワンストップ窓口**※を開設し、事業計画などの作成支援を行なう。

問 補助金申請後、交付までどのような流れか。

答 町は提出書類の審査の後、交付の可否を決定し、申請者に通知する。

問 支援事業の期間は。

答 平成30年3月31日まで。制度のより一層の啓発に努める。多くの方々の創業に期待をしている。



補助金の活用でニューオープン

※創業支援

ワンストップ窓口

創業を希望する方に対して創業前からその後までのサポートを内灘町商工会の窓口で一括して行なう。事業計画、資金計画作成、各種補助金融資あつせん、各種申請、届け出書作成、専門家派遣など。



恩道 正博

予算編成の基本方針は 定住促進に重点 町長



地域防災コミュニティの拠点として再生が待たれる

問 平成28年度予算は、白帆台小学校建設、福祉センター整備、地域防災センター建設を含む一般会計は約105億円の大型予算となっている。予算編成の基本方針は。

答 第5次内灘町総合計画及び、まち・ひと・しごと創生総合戦略の初年度として子育て環境の充実による定住促進に重点を置き、町総合計画の実

現に向け予算編成した。持続可能な財政構造を構築する。

問 大型事業の財源は。また、財政運営にどう取り組んでいくか。

答 緊急防災・減災事業債で元利償還額の70%が交付税に算入される有利な起債を活用する。財政状況を見極め、健全な財政運営を行なう。

認知症支援

問 認知症初期集中支援チームの設置状況を示せ。

答 国は平成30年4月までに認知症初期集中支援チームの設置を求めている。専門医師と医療・介護の有資格者で構成するチームの設置に向け金沢医科大学病院と協議している。

問 町の高齢者人口と要介護認定※は何名か。

答 認知症や脳血管疾患など16の種類が指定され、介護認定を受けている方は30名。



若さの秘訣はオシャレ（生きがいサロンどんぐり）

答 平成27年12月末で65歳以上6518名、要介護認定者960名、うち要介護者770名、要支援者190名。

問 65歳までの初老期で認知症を含む特定疾病が原因の介護認定者数は。

問 公共施設に公衆無線LANを設置せよ。

答 補助制度の活用と設置を調査研究している。

その他の質問

※要介護認定

どの程度の要介護・要支援状態にあるか、市町村の介護認定審査会で判定される。要支援1・2級、要介護1〜5級の区分がある。

国保の赤字解消は一般財源で

保険税負担で運営する 町民福祉部担当部長



北川 悦子

答 最大の要因は、後期高齢者支援金及び介護納付金支払額に対する支援金分・介護分の保険税の不足だ。高齢化で赤字の増加が予想される。

問 平成28年度も国保税率引き上げの改正案が提出された。医療分だけを見れば、単年度収支は赤字が続いている。累積赤字2億円をこえている原因と今後の見通しを問う。

答 国保は相互扶助の精神に基づき、加入者の保険税負担などを財源として運営される。法定外繰り入れはしない。

問 国保加入者のうち総所得200万円以下の方は全体の80%を占める。赤字解消には被保険者だけでは賸り切れない問題がある。

一般財源から法定外繰り入れをせよ。



健診で早期発見

議員報酬

問 特別職報酬等審議会の答申に沿って議員報酬引き上げの条例改正案が提出された。

議員報酬6万5千円の引き上げは定数を削減した3名分の報酬にあたる。消費税率が8%に引き上げられた平成26年以降、消費が冷え込んでいることから、町の財政、町民の暮らしを考えれば、議員報酬の引き上げは困難ではないのか。

答 審議会からは、議員定数の削減、通年議会の試行、毎月の常任委員会、全員協議会の開催、政務活動費の廃止など、継続的に議会改革に取り組んだ姿勢が評価され、答申が行なわれた。

地方分権が進展する中、議員の職責と役割はますます重要になり、議員活動に専念できる環境整備が必要と考え、答申どおりの引き上げを提案した。

その他の質問

問 障がい者が65歳になつたときの窓口対応は、**答** 介護保険サービスが優先になる。

問 女性議会の開催を、**答** 開催にこだわらず活躍できる施策を推進。

問 就学援助制度の入学準備金は3月に支給を、**答** 課題の整理に向けて引き続き調査をする。



厳正に審議されました（報酬等審議会）



夷藤 満

郷土愛を養い町に誇りを

町歌を覚える機会を設けたい 教育長



歌声高らかに（立志式）

問 町立保育所に通っていた子どもたち以外は、中学生になるまで多くの生徒が町歌を知らない。町の大切な歌であり、郷土愛を養い町に誇りを持って巣立つために、もっと町歌を歌う機会が必要だ。町の考えを寄せ。

答 内灘町教育振興基本計画※のめざす人間像の一つに「ふるさと内灘に誇りを持ち、広い視野に

立って社会に貢献できる人」とある。町への誇りと愛着を醸成するため、歌い覚える機会を設けていきたい。

答 非常に良いことだと思っている。ぜひ検討したい。

問 お昼に防災行政無線で流れる町歌のメロディを、歌詞付きにかえてはどうか。

風力発電所

問 平成27年度は3月から10月にかけて補修のため休止、6000万円の修繕費が計上された。再稼働後の収支を示せ。また、子どもたちの学習に風車は取り入れられているか。

問 風力発電所の今後の展望として増設の考えは。

答 売電収入2070万円を見込み、歳出の維持管理費と起債償還額を差し引いた不足額1050万円余りを一般会計から

答 増設には施設規模や用地選定、財源確保が必要。売電単価の動向も重要になる。今後、課題を調査、研究する。



年間の発電量は？（風車の見学）

※内灘町教育振興基本計画
国や県の基本計画を踏まえ、将来を担う子どもたちの育成や新たな社会の構築に向け、策定される町の教育方針。平成27年度からの10年間の計画期間となる。



その他の質問

問 保険税率を引き上げる必要があるのか。
答 将来に大きな負担を残さないために必要。



米田 一香

総合管理計画の状況を示せ

28年度内に策定する 町長



安全・安心の水道事業を

問 公共施設等総合管理計画の位置づけと内容、進ちよく状況を示せ。

答 町の公共施設などの現状を総合的に整理・分析し、長期的な視点で施設の更新や統廃合、長寿命化を計画的に行なうために策定する。
基礎となる固定資産台帳は平成28年3月末に完了、管理計画は28年度内の策定を予定している。

問 ICT※を活用し、安全・安心で効率良い上下水道事業を検討せよ。また今後の将来展望は。

答 ICTの有効な活用方法は調査研究を進める。上下水道事業は暮らしに不可欠で事業の継続が最も重要。今後は経営環境が厳しさを増す。事業の広域化へ検討を進め経営基盤の安定強化を図る必要がある。

教 育

問 特認校※に専用スクールバスやコミュニティバスを利用した通学サポートとして、通学定期券の導入を提案する。

答 通学距離が長いため特認校制度を利用し、通学サポート制度ができれば保護者の負担を軽減できるため調整を図る。

問 西荒屋地区に義務教育学校の創立を検討せよ。

答 生涯学習は学校教育と車の両輪であり、町を形づくる大切な事業。高齢になっても社会の役に立てる意識をもってもらうために充実は大切だ。健康寿命の延伸を考え町全体でニーズに応じた事業を展開する。

問 生涯学習では健康教育に力を入れ取り組め。

答 一朝一夕にならない。



走れ！ナディ

※ICT

情報通信技術のこと。ICTを用いる事業は災害発生時の情報把握や復旧支援の効率化にも有効で、地域の諸課題の解決に役立つ。

※特認校

校区にかかわらず学校を選ぶことができる学校選択制の一つ。西荒屋小学校は平成27年度から小規模特認校となっており、町内どの地域からも通学することができるとのこと。



清水 文雄

議員報酬引上げ額を縮小せよ

答申内容を踏まえ判断した 町長



伸びゆく白帆台

問 財政運営で行財政改革への考えや取り組みが抜けていないか。

住民の中には、経費を縮小するための議員定数削減の声があった。定数削減による財源は住民福祉施策に活用されるべきだ。議員報酬の6万5000円の上げ幅を縮小する考えはないか。

答 特別職報酬等審議会からの答申を踏まえたも

ので、答申内容は議会にも伝え、意見を伺いながら判断した。

他の自治体と比較するのではなく、それぞれの議会組織、議会運営、議員の活動状況に応じた報酬を設定すべきである。

答 定住促進施策を推進し財源の確保に努める。

問 自主財源の確保という具体的な施策は何か。

不登校対策

問 町内の不登校児童・生徒数の実態は。

答 平成28年1月現在、小学生2名、中学生17名。

問 学校に来て、教室に入れない子どもたちのために、以前あった**エール教室**※のような居場所を作ることが大切だ。対策として学校での居場所、相談ができる場所が必要ではないか。

答 以前あったエール教室は本来の教室復帰をめざす目的と異なる結果となっていたため廃止した。

学校不適応傾向の子どもへの支援は、現在週3日カウンセラーが2名来ています。また学校とカウンセラーが連携しチームとして子どもたちの教室復帰に向けて対策をとっている。

エール教室は必要ではないと判断している。



充実した学校生活

※エール教室

平成21年～平成25年まで、登校できるが自分の教室には入れない生徒のために校舎内に設置された教室。現在この制度は廃止となっている。

鶴ヶ丘県営住宅の移設計画は

白帆台での建設を先行 町長



磯貝 幸博

問 現在県営住宅（鶴ヶ丘4・5丁目）の移設計画がある。そのため新規入居の募集を停止しており、世帯数が減少している。入居者の不安はもとより、町会運営においても多大な影響がある。どのような計画を進めるのか。

答 県は光ヶ丘県営住宅（金沢市）に続き、町での建設事業を進める。白帆台での建設を先行し、完成した時点で鶴ヶ丘の建て替えを始める。5丁目を整備した後、4丁目の取り壊しへと進む。転居にかかる費用などは示せる段階ではないが、詳細が判明した段階で、順次説明していく。跡地利用については未定である。



建替予定の県営住宅（鶴ヶ丘5丁目）

世界の風の祭典

問 30周年を目前にした世界の風の祭典は、内灘海岸を全国に発信できる絶好の機会である。

連携中核都市圏を構成する自治体、議会、企業、学生など多方面に案内し連携強化が必要。「内灘海岸」で「世界の風の祭典」の魅力を発信せよ。また、外国人旅行者を呼び込むためにも、案内を英文化し海外にも情報発信せよ。



世界の風の祭典開会式（内灘海岸）

答 これまで県内他市町、全国各地からの参加がある。また、幅広い分野の団体の参加もあり、多くの方々に親しまれている。

今後、全国の風揚げ大会への参加や、インターネット・ホームページなどの新たな情報発信手段によりPRに努める。連携中核都市圏内の広域観光での連携強化や地域の団体、企業にも参加や協力を呼びかける。

※連携中核都市圏

人口減少社会における活力ある経済社会を維持するための拠点形成。

県の石川中央都市圏では、金沢市を中心として白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町の4市2町で連携中核都市圏が構成される。

その他の質問

問 伐採された木材を有効に活用せよ。

答 調査研究し、適切な管理を行なう。

問 公共施設等総合管理計画策定業務を問う。

答 総括的に捉え中長期計画に反映していく。

総務産業建設常任委員会

問 三世代ファミリー同居・近居促進事業補助金では子育て支援を充実させるため県の制度以上の取り組みが必要だ。

答 財源確保の課題はあるが、制度の充実は今後検討する。

問 連携中枢都市圏でのごみ処理連携はどう考えるか。

答 今後、連携中枢都市圏の中で連携事業が拡大する場合は報告する。

問 外国人旅行者観光受入整備事業補助金の周知方法は。

答 町ホームページや商工会を通じて行なっている。

問 議員報酬改正の答申内容を示せ。

答 審議会での答申内容は町ホームページ（特別職報酬等審議会）の中で公開している。

問 松枯れ被害で景観が悪いハマナスから大清台の樹木は、種類を変更し景観をよくしてはどうか。

答 変更する予定はないが、植栽時に地元町会と協議する。



松枯れ被害をくい止めろ

文教福祉常任委員会

問 スクールカウンセラーは不登校者への訪問をしているか。

答 中学校では県からスクールカウンセラーが2名、週3回来ているが家庭への訪問はしていない。

問 白帆台小学校建設にかかる総額と起債の年数、町の持ち出し額を示せ。

答 土地や備品の購入費を合わせると総額27億円。借金は約17億円で20年返済。国庫補助金は約6億円。一般財源からは約4億円となっている。

問 国保税率の改正による累積赤字解消の計画を示せ。

答 平成28年度当初予算で約5500万円を基金として積む。約2億円の赤字は4年間でなくなる計画だ。最長で平成35年度までの解消を目指す。

問 河北潟で水質検査をやっているが、状況を示せ。

答 年2回の観測と資料のデータを作成している。適正基準値は超えているが、悪化はしていない。

問 交通安全推進隊の隊員は何名足りないのか。順次補充する必要があるか。

答 定員130名で現職115名。15名が不足している。今後の補充は検討していく。



防犯と交通安全推進隊の観閲式

名誉町民称号贈呈式

平成28年3月26日

役場町民ホールにおいて、長年にわたり内灘町に多大な貢献をされた岩本秀雄氏に名誉町民の称号が贈呈されました。

町長を4期、町議会議員を3期務められ、贈呈式ではサンセットブリッジ建設当時のエピソードや思い出話など披露して頂きました。



内灘町への愛情を語る岩本秀雄氏

視察レポート

議会運営委員会

沖縄県 日程 2月17日～19日

【視察先】

- ・島尻郡南風原町
- ・中頭郡嘉手納町



南風原町議会 宮城議長の挨拶

通年議会の本格実施や政務活動費の廃止など議会改革を進めるなか、さらに町民に開かれた議会を目指すため、「議会報告会の運用」や「議会基本条例」の内容等を研修してまいりました。

議員報酬の改定を議決

関連記事10ページ

特別職報酬等審議会の答申を受け町長から議会に上程された、議員報酬にかかる議案を議決しました。

平成11年以来的の報酬額改定となります。

【議員報酬額の改定】

議長(1名)	343,000円	→	420,000円
副議長(1名)	306,000円	→	368,000円
議会運営委員長(1名)	290,000円	→	356,000円
常任委員長(2名)	290,000円	→	356,000円
議員(8名)	285,000円	→	350,000円

※ ()内は該当議員数。議員定数は13名。

※ 政務活動費(月額2万円)は平成28年3月で廃止。

議会事務局新体制

4月より2名の新メンバーを迎え、4名体制でスタートしました。宜しく願います。



議会事務局新メンバー

- ・東 康弘 参事兼次長
- ・安下美智子 書記

一般質問のゆくえ

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

地方創生総合戦略を策定せよ

国では、地方版の計画策定は努力義務となっているが、町の主張はしっかりと主張していくべきであり導入を求める。

平成26年12月議会 藤井 良信

答 弁

積極的に取り組む

今後、国・県の総合戦略の内容を吟味し、魅力ある町としての維持・発展に取り組む。

その後

平成27年10月 総合戦略策定

内灘町まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定され、基本的な視点や4つの基本目標を踏まえ、地方創生の施策推進が実施される。



フィルムコミッションを設立せよ

フィルムコミッション※を立ち上げ、観光振興や活性化に活かしてはどうか。

平成22年12月議会
平成25年9月議会 川口 正己

答 弁

観光振興へ前向きに検討する

情報発信の有効な手段として、北陸新幹線金沢開業に向け前向きに検討する。

その後

平成26年8月 内灘町フィルムコミッション設立

設立後、ドラマ等の映像制作に対し、エキストラの募集などの支援を行なった。

※フィルムコミッション

映画などの撮影場所誘致や撮影支援をする機関。地方公共団体か観光協会の一部署が事務局を担当していることが多い。



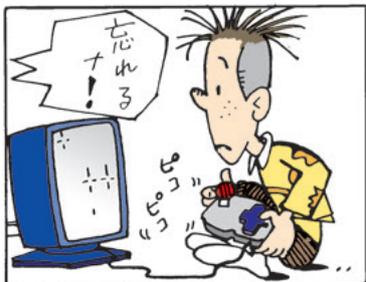
平成27年中に内灘町議会を傍聴された方は**239人**でした。

	3月会議	臨時会	6月会議	7月会議	8月会議	9月会議	10月会議	11月会議	12月会議	合計
平成27年	74人	3人	53人	2人	－	53人	－	－	54人	239人
平成26年	84人	－	27人	3人	4人	50人	2人	2人	47人	219人

平成27年度の町ホームページ議会へのアクセス件数は3,941件でした。

聞いてて、聞こえないふり

浜中精一



街がどインタビュー

「本当に来てよかった内灘」

今回紹介する方は白帆台の曾山正行さんです。



◆内灘に住んで何年ですか。
○平成24年2月に兵庫県西宮市から移り住み、5年目になります。

◆日頃から何か取り組んでいることはありますか。
○私も障がいのある子どもに対する町の教育施策の積極性を感じ内灘に移住しようと思った。

◆内灘を選んだきっかけは。
○次男がダウン症でうまれたため、妻はこの子に一番あつた環境で育てたいと思い、手を尽くした結果、内灘町の大根布小学校にたどりつきました。

◆そのことで、ご主人の思いはどうでしたか。
○私も障がいのある子どもに対する町の教育施策の積極性を感じ内灘に移住しようと思った。

◆町への要望はありますか。
○内灘町の皆さんに喜んでもらうため古本興業に所属していた経験を活かし、これまでに桂きん枝、桂文也の両師匠、桂三馬枝さんの落語会を町内で開催しました。

○社会福祉協議会の運転ボランティアや通学の見守り活動をしています。今年から「サンセット通り美化クラブ」を立ち上げました。



第1回白帆台落語会

◆ありがとうございました。
インタビューー 七田 満男

「笑い」は人々を幸福にします。今後も落語会を開催していきたいので町のバックアップをお願いします。

議会を傍聴しませんか

次の定例会議の開催は
6月7日(火)～15日(水)です。

受付は当日、庁舎3階のエレベーター横で行っています。

議会事務局 TEL286-6715

編集後記

熊本地震で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

若葉の新芽も吹き出し菖蒲の花が美しい季節。暖かい日差しの中で幸せが感じられる頃となりました。

新一年生たちも学校生活に少し慣れ、一段と凛々しさが感じられます。待ちわびた、ほのぼの湯や白帆台小学校の建設、地域防災センター整備事業など新規事業では、町民目線がますます大切になってきます。

今後とも議会だよりの編集では、より充実の内容をめざしてまいります。

〔北川 悦子〕

広報対策特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 藤井 良信 |
| 副委員長 | 磯貝 幸博 |
| 委員 | 米田 一香 |
| 委員 | 七田 満男 |
| 委員 | 北川 悦子 |

1部あたりの単価は41.76円です。
リサイクルペーパーを使用しています。

